

第4章

協働による取組み



市が市民（市民団体等）・事業者と協働して行った
環境への取組みの実績等を記載しています。

多摩市の環境づくりを進めていく上で、“市民、事業者、行政の協働”（みんなの協力）も重要です。そのためには、市民（子どもを含む）、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し実践するとともに、相互のパートナーシップを築いていくことが欠かせません。

1. 協働による環境への取組み実績

令和2年度は次の110以上の団体等と協働して、環境保全・環境美化・ごみ減量活動等を実施し、延べ約5,300人の参加がありました。

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|----------------|-----------------------|--|-----|---|
| 4月1日～ 3月31日 | アダプト制度による 公園施設等の管理 | 48団体 41公園 | 諸団体 | 各市民団体が公園施設等の身近な公共空間の美化及び清掃活動を行うことで、環境に対する市民意識の高揚が図られ、協働によるまちづくりを推進した。 |
| 4月1日～ 3月31日 | グリーンボランティア | 市と協定を結ぶ 12の市民団体に加入している 市民等12公園・緑地等 | 諸団体 | 市とのパートナーシップのもと、公園、緑地等について自主的に維持管理を行うことで、みどりの保全、育成及び創出が図れた。 |
| 4月1日～ 3月31日 | 公園愛護会による 公園清掃 | 52団体 82公園 | 諸団体 | 地域住民・自治会・老人会等により組織された団体が、主に街区公園を対象として清掃を実施し、公園の愛護意識の向上が図れた。 |
| 4月1日～ 3月31日 | 鶴牧西公園 果樹の谷管理 | 4団体 1公園 | 諸団体 | 市民の手による果樹園の維持管理と自然を理解し親しむための活動を通して、人々のふれあいの場ができ、収穫の喜びを分かち合えた。 |

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|---|---------------------|----------------------------|---|---|
| 4月1日～ 4月15日 6月1日～ 3月31日 (4月16日～ 5月31日閉 鎖) | 転入者ごみ分別 説明窓口 | 4,459人 | ※エコ・フレンドリー 多摩市 | 市役所1階ロビーにごみ相談窓 口を設置し、転入者や来庁し た市民に多摩市の分別ルー ルに基づくごみの出し方を説明 し、ごみ減量・資源化の普及 啓発を行った。 |
| 4月1日～ 3月31日 | リユース食器 貸出事業 | | ※エコ・フレンドリー 多摩市 | 例年、イベントやお祭りで大 量に出る使い捨て容器や割り ばしの代わりに、繰り返し使 えるリユース食器を無料貸出 しすることでごみ減量を推進 している。食器の洗浄・殺 菌・貸出準備業務や普及啓発 を行い、市民のごみ減量意 識の向上に努めているが、令 和2年度は新型コロナウイルス 蔓延により貸出しは中止した。 |
| 4月1日～ 3月31日 | 生ごみリサイクル サポーター事業 | 登録者数 20人 | 生ごみリサイクル サポーター 多摩市 | 市のごみ減量を目的に行政と 協働で生ごみの自家処理の普 及啓発している。 講習会の講師や情報交換会、 研修会等を実施した。 |
| — | 一ノ宮用水の 川の生き物調査 | 新型コロナウイ ルス感染拡大に より中止 | よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 環境に配慮した一ノ宮用水路 の護岸工事の効果を把握する とともに、生物多様性に関す るデータを得るために、平成 26年度から市民協働による生 き物調査を実施している。 |
| — | 多摩市水辺の楽校 楽校式 | 新型コロナウイ ルス感染拡大に より中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 平成22年3月に国土交通省に 登録し、市も参画している。 さまざまな観察会等を企画し ながら子ども達の水辺の自然 に親しむ機会と体験を増やし ている。 |

※…協働指定委託事業受託者

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|----------------|--------------------------|--------------------|--------------------------------------|--|
| — | 「まち美化キャンペーン ～ごみゼロデー～」 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市まち美化 推進協議会 廃棄物減量等推進員 多摩市 | 5月30日の「ごみゼロデー」に合わせて、ごみの散乱防止・減量啓発のキャンペーンを市内4駅で実施した。平成26年度から環境施策の効果的・効率的な推進を目的に、ごみ対策課と合同で実施。 |
| 4月1日～ 3月31日 | 生ごみリサイクル 講習会 | 参加延べ人数 123人 | 生ごみリサイクル サポーター 多摩市 | ダンボールコンポスト等を使用した生ごみの自家処理・生ごみ堆肥の作り方の講習会や相談会を行い、生ごみ処理の普及に努めている。 |
| — | 川の生き物 調査・観察会 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市環境行事 実行委員会 | 多摩川と大栗川の合流点付近で河原の植物や水生生物の観察等を行うことにより、子どもだけでなく保護者にも自然への興味や知識を深めている。 |
| 6月7日 | 全国一斉水質調査 | 4人 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 多摩川・大栗川・乞田川の水質を一斉に調査した。 |
| — | 安全講習会と川遊び | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 水辺での行事実施時に、川の安全教育と川遊びを実施した。 |

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|-----------------------------------|---------------------------|--------------------|---|--|
| 8月26日 9月16日 12月16日 2月17日 | 環境出前教室 | 4校 318人 | たまごみ会議 多摩市 | 小学校に出向き、小学4年生を中心に、ごみ・資源の分別やゆくえ、処理方法について知り、ごみを減らすための工夫、4Rについて考えるための授業を実施した。 |
| — | 多摩市 身のまわりの 環境地図作品募集 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市身のまわりの 環境地図作品展 運営委員会 | 身のまわりの環境についてを、地図として表現することを通じて、環境への興味を深めるとともに、疑問に感じたことなどを調査し、それを地図にするという工夫・学習の楽しさや大変さを体験する。 |
| — | 大栗川水辺まつり | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 【主催】 よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 【協力】 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 大栗川（東寺方小学校付近）で、手作りのイカダに乗りながら、豊かな川の自然に触れ、環境への興味を深めてもらおうと共に清掃活動を行う。 |
| — | 多摩川源流体験 サマーキャンプ | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 山梨県小菅村にて2泊3日のサマーキャンプを行う。1日目は川登りをし、2日目は水干と呼ばれる多摩川の始まりの一滴を見るため笠取山に登る体験を行う。 |

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|-----|----------------------------|----------------------------|-------------------|---|
| — | 乞田川の恵み (生きもの調査・ 観察会) | 新型コロナウイルス 感染拡大に より中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 乞田川でガサガサを行う。 |
| — | 環境学習セミナー | 新型コロナウイルス 感染拡大に より中止 | 多摩市民環境会議 多摩市 | 環境に興味のある方、これか ら環境活動をしてみたい方な どを対象に、フィールドワー クも取り入れて開催する。 |
| — | 多摩川カヌー体験 教室 | 新型コロナウイルス 感染拡大に より中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 子どもを対象として、多摩川 の水辺に親しみながらカヌー を体験する教室を行う。 |
| — | 環境ウォッチング | 新型コロナウイルス 感染拡大に より中止 | 多摩市環境行事 実行委員会 | 大谷戸公園キャンプ練習場と 都立桜ヶ丘公園内で、自然観 察や脱穀体験、クラフト作り 等を行う。こうした自然に親 しむきっかけを作ることに よ、子どもだけでなく保護者 にも自然への興味や知識を深 めることができる。 |

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|-----|------------------------------|--------------------|---|--|
| — | 「まち美化キャンペーン ～市民清掃デー～」 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市まち美化 推進協議会 | 11月の「市民清掃デー」の時期近くに合わせて、歩行喫煙をはじめ、吸い殻・空き缶等のポイ捨て行為によるまちの環境悪化を防止するため、多摩市まち美化推進協議会委員や市民・市民団体・事業者・学校等の協力により実施する。具体的には市内4駅周辺での清掃活動や、平成24年10月1日施行の「多摩市まちの環境美化条例」の周知を行う。また、健康推進課とも協働し、多摩市受動喫煙防止条例の制定に向けた喫煙マナーの向上のための周知・啓発活動も実施する。 |
| — | 美しい多摩川 フォーラム 「多摩川清掃」参加 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 美しい多摩川 フォーラム 事務局 【参加】 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 美しい多摩川フォーラム主催の「多摩川清掃」（多摩川河川敷の清掃）に参加する。 |
| — | 多摩川 クリーンアップ作戦 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市水辺の楽校等 多摩市諸団体 | 多摩川・大栗川周辺の清掃活動を「多摩市青少年問題協議会第一地区委員会」とともに実施する。 |
| — | 多摩市身のまわりの環境 地図作品展表彰式 | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 | 多摩市身のまわりの 環境地図作品展 運営委員会 多摩市 【運営】 ※多摩市民環境会議 | 優秀賞受賞作品及び奨励賞受賞作品を表彰するとともに全作品を展示する。 |

| 実施日 | 取組名 | 参加者等 | 主催等 | 内容 |
|----------------|----------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---|
| 12月5日 12月6日 | 多摩市 消費生活フォーラム&エ コ・フェスタ2020 | 403人 | 消費生活フォーラム& エコ・フェスタ 2020実行委員会 | 多摩市の消費者団体、環境団 体、行政、企業などが集ま り、暮らしや環境に関わる 様々な問題について幅広い視 点から情報を発信し、考える イベントである。 |
| 2月24日 | まち美化貢献者・団体 表彰式 | 3人 | 多摩市まち美化 推進協議会 多摩市 | まち美化に貢献した団体3組を 表彰した。 |
| — | 冬鳥観察会 | 新型コロナウイルス感 染拡大に より中止 | 多摩市水辺の楽校 運営協議会 | 多摩川に生息する冬鳥の観察 会を行う。 |

2. 人づくりに向けて

(1) 環境教育の充実

環境を大切にする「心」を育てるためには、子どもの頃から自然や生き物とふれあい、環境を大切にする心を育てていくことが重要です。

多摩市では、持続可能な社会の担い手を育成するため、「2050年の大人づくり」をキャッチフレーズとして、市内の全小・中学校でE S D（Education for Sustainable Development）の取組みを進めています。環境教育はその重要な一躍を担っています。



市内の全ての小・中学校で社会科、理科、家庭科、生活科などの教科学習、あるいは、総合的な学習の時間、「特別な教科 道徳」や特別活動などを通じ、水、土、空気、騒音、ごみ、リサイクル、草花栽培、樹木の保全活動などを取り上げています。

(2) 環境学習の拡充

子どもから大人まで生涯を通じて環境にやさしい行動をする人を育てるため、地域ぐるみで環境について学び、実際に体験するための場や機会を提供していきます。

市内では、グリーンライブセンターやコミュニティセンター、公民館等で、環境に関する学習会等が市民団体などの主催により開催されています。

また、市主催による施設等見学会、環境学習会、自然観察会や環境ウォッチング、農業体験等の体験学習等多彩な取組みも行っています。



さらに、歴史・文化の保全・継承に関しても同様な取組みを進めています。